



2026 年 10 月 5 日

各 位

会 社 名 ハウス食品グループ本社株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦上 博史
(コード番号：2810、東証プライム)
問 合 せ 先 広報・IR部長 三宅 英貴
(TEL. 03-5211-6039)

事業持株会社体制への移行に向けた準備開始に関するお知らせ

当社は、現在当社グループが実行する「構造改革」の一環として、下記の通り 2027 年 10 月を目途に事業持株会社体制へと移行すべく、当社の完全子会社であるハウス食品株式会社（以下、「ハウス食品」といいます。）およびハウスウェルネスフーズ株式会社（以下、「ハウスウェルネスフーズ」といいます。）の吸収合併、ならびにハウスギャバン株式会社（以下、「ハウスギャバン」といいます。）の吸収分割による生産機能会社化に関して、検討及びその準備を開始することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 準備開始の目的

当社グループは、第八次中期計画（2025 年 3 月期～2027 年 3 月期）の 2 年目を終えた時点で、売上高・利益の成長や資本効率の改善が当初計画に対して遅れが生じていることや、今後、経営環境の不透明さが一層増していくことを踏まえて、2026 年 4 月よりこれまでの経営計画を見直して『成長領域への集中』、『組織改革の実行』、『財務戦略の強化』を 3 つの柱とする「構造改革」を実行しております。

こうしたなか、当社グループは 2013 年 10 月以降、持株会社体制のもと、各事業が最適な経営体制で成長戦略を立案、実行することによりグループ各事業の価値創造力を高めてまいりましたが、今後のさらなる成長に向けては事業と機能の一体化により組織の求心力を高めて、グループ最適な経営判断により成長加速や収益力向上を追求していける組織体制への改革が必要と考え、2027 年 3 月期第 1 四半期より社長直轄の組織改革プロジェクトを立ち上げて、新たな組織体制案の議論を進めております。

今後、具体的には当社と国内主力事業会社との統合を通じて事業持株会社体制に移行し、国内外事業の成長戦略を一体的に推進するとともに、機能統合により経営の効率化を図ってまいります。

2. 組織統合の方式及び実施時期

組織統合の方式は、当社を存続会社とし、ハウス食品、ハウスウェルネスフーズを吸収合併する方式を想定しております。また、ハウスギャバンは吸収分割方式により生産機能会社としていくことを想定しております。

組織統合の実施時期は、事業運営やステークホルダーの皆様に与える影響に鑑みて、ハウス食品の吸収合併を2027年10月に実施すること、ハウスウェルネスフーズの吸収合併ならびにハウスギャバンの吸収分割を2028年10月以降に実施することを想定しております。

詳細については、今後決定次第、改めてお知らせいたします。

3. 今後の日程（以下、すべて予定）

組織統合に関する取締役会決議日	: 2027年 2月
ハウス食品との吸収合併契約締結日	: 2027年 2月
組織統合に伴う株主総会決議日	: 2027年 6月
ハウス食品との吸収合併契約の効力発生日	: 2027年10月

なお、ハウスウェルネスフーズの吸収合併ならびにハウスギャバンの吸収分割に関する今後の日程については、2028年10月以降の実施に向けて検討中です。

4. 業績に与える影響

今回の組織統合は当社と完全子会社を当事会社とするため、実施時の連結業績に与える影響は軽微であると想定しております。

以 上